English　英語対応のホームページを作成中

鎌倉で知り合ったMeta（旧Facebook）に勤務するアメリカ人の知人に頼み、英語対応のホームページを作成してもらうことになりました。11月の宝物風入れ展ではお寺まで取材にも来てくれました。

現行のホームページをただ単純に英訳しても外国人にはほとんど通じませんので、ネイティブな外国人の目線で写真やキーワードを上手に盛り込んだページに仕上げてもらい、天目山の魅力を海外にも発信していこうと思います。1月中には完成する予定です。

定例坐禅会のお知らせ

☆毎月最終日曜日　午前7時～8時30分　　★志納金300円

本堂坐禅30分・霊石泉岩坐禅30分・茶礼30分の内容で行っています。

初めての方には心得を説明しますので6時45分までにお越しください。

坐禅の聖地®
で禅体験しませんか

右のリストにあるような禅体験を事前にご予約いただき実施しておりますが、これのみでなく、ワークショップ・ヨガ・ハイキング・etc.との組み合わせも可能ですので、企業研修、仲間内、学校行事等でご利用ください。（ヨガと組み合わせた研修の実績が最も多いです）

研修の詳しい内容はホームページをご覧ください。また、志納金は組み合わせ方により変わりますので直接お問い合わせ願います。

- 本堂坐禅
- 石庭での岩坐禅
- 写経・写仏
- 幻住茶礼（石庭で抹茶と菓子）
- 境内案内・歴史講話
- 食作法（寺の作法で精進料理）
- 掃除・板の間ぞうきん掛け
- 建長汁(けんちん汁)作り
- 蕎麦打ち体験　　など

＜発行者＞　臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺　住職 青柳真元
〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122　TEL 0553-48-2797
ホームページhttp://www.tenmokusan.or.jp　または[栖雲寺]で検索

公式ホームページ　お寺の説明、行事案内など

住職日単(blog)　日常をありのままに、住職日誌

Instagram　天目山の写真　*Please follow*

栖雲寺たより
天　目

第４２号
発行日
令和５年１月１日

寺宝　信玄公愛用　兎の文鎮

鬼を退治して巨福の一年に

新年あけましておめでとうございます。また喪中の皆様にはお見舞い申し上げます。清水寺の貫主様が揮毫された『戦』の漢字が示したとおり、昨年は長引くコロナとの戦いや他国への侵攻などいたわしい出来事の多い一年でしたが、今年は福の多い一年となりますようお祈り申し上げます。

「福は―――内！」私が勤める鎌倉の大本山建長寺節分会はコロナ禍のためここ数年開催できていませんが、本来ですと建長寺派管長猊下の大きなこの掛け声で豆まきがスタートします。参加されたことがある方はご存知でしょう、建長寺の節分に「鬼は外」はありません。全員で「福は内」のみを大声で発して福豆をまきます。ですから管長様の第一声も「福は内」なのです。これは巨福山建長寺の清浄な境内には鬼などいないからというのが理由であります。

大ヒットした映画やアニメに登場する鬼、子供のころから知っている昔話の鬼、さて鬼とはいったい何者なのでしょうか。地域によってさまざまな姿や言い伝えもあると思いますが、悪霊としての鬼も妖怪としての鬼も元を辿れば仏教の鬼が進化したものです。仏教では悪行を働いた者の地獄の心や強欲な者の餓鬼の心を鬼として擬人化し、無慈悲の象徴としたのです。言い換えれば心の闇（煩悩）が顕在したものが鬼であり、「鬼は外」とはつまり自分の心に住み着いた邪鬼を追い払う為に豆をまいているとも言えます。

坐禅で見性（自分の清浄心を見ること）することが目的の禅宗にとって、それを妨げてくるのが心に住み着いた鬼。その鬼は自分によくなつき、懲らしめても追い出しても結局は居心地の良い主人の心に帰ってきてしまう。それはまさに飼い慣らしたペットのようなもの。私自身、何年坐ってもいつまで経っても鬼との攻防は一進一退で、三毒（欲望、怒り、妄想）に侵されては解毒しての繰り返し。私の鬼退治は、鬼ヶ島に渡って鬼を倒してみたもののいつの間にか復活して増殖して、全滅させるまでにはまだ時間がかかりそうです。坐禅を続けていくしかありません。

中国では、鬼の本質とは人間と反対の概念であるとされています。つまり人間らしさがなくなったら鬼であり、仏の教えに当てはめれば思いやりの心や慈悲の心を失くしてしまったら鬼ということになるでしょう。仏教は、この世に生を受けた全ての生きものは生まれながらに慈悲の心を持っていると説きます。しかし大慈悲に満たされていたはずの赤子の心は成長と共に業が深まり、他人と比較しては争い、欲望に振り回され、自分さえよければという思いや、怒り憎しみといった無慈悲な鬼の領域が増え、慈悲心を遮ってくる。慈悲の心は誰もが持っていると説きながら、鬼にその領域を簡単に奪われるので慈悲には鍛錬が必要であるとも説いています。坐禅に徹し見性してゆこう。自分が三毒に侵されていると気づいたならば離れる努力をし自浄する力を身に付けてゆこう。自分や家族を慈しむように他者にも慈しみの想いを広げてゆこう。『戦』の相手は他者や他国ではなく自分の心の内。そうやって慈悲心の鍛錬をしていくのです。

建長寺にお参りした人達は仏殿のお地蔵様と法堂の千手観音様に見守られ、その御心を頂戴し、思いやりが溢れ慈悲に満ちた心を得る。そんな建長寺境内には、そして参拝した人々の心には鬼などいない。それが「鬼は外」のない理由なのでありましょう。

旧暦では二月三日の節分がお正月です。新暦の新年にあたり、万民の心の鬼退治と心の安寧をお祈りし本年をスタートさせていただきます。渡る世間に鬼はなしといいます。人々の温かな親切心、慈悲心を信じて生きていきたい。そしてその発露のために、栖雲寺と私自身も衆生の役に立っていきたい。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。　　住職　青柳真元　　合掌

【令和4年　10月　～　12月の報告】

10月2日（日）　山門大施餓鬼会

そろそろ例年通りに戻したい、しかしまだコロナ禍。今年も縮小開催とし布教師様の法話は無く、私と父二人だけでの読経とさせていただきました。そして出斎（法要後の昼食）も無しで行いました。

10月7日（金）、8日（土）　全日本仏教徒会議　身延山大会

全日本仏教徒会議が身延山久遠寺で行われました。山梨県仏教会の理事として大会副会長の大役を任されましたが、全くの力不足で当日は法要に出頭した程度です。全ての企画段取りは実行委員会事務局の皆様によるもの、本当にお疲れさまでした。この大事業を見事に完遂し素晴らしい内容でした。

寺離れ、宗教離れの原因は既存のシステムの上に胡坐をかき努力も対策もしてこなかった僧侶自身にあると自覚しています。新興宗教の問題なども露見しており、私ももう一度帯を締めなおして寺門の興隆、檀信徒の教化、社会貢献に努めていこうと考えさせられました。

全日本仏教会会長
真宗大谷派門首様の挨拶

11月6日（日）　弓道の練習道具が寄贈される

甲府市上阿原町の割烹料理屋「飛車角」の御主人から巻藁（弓道の練習道具）と外に設置するための四阿を御奉納いただきました。栖雲寺坐禅会参加者の方が飛車角へ食事に行った際、栖雲寺住職が裏庭で弓を引いているとの話しになり、ご主人は高齢で引かなくなったからと寄贈いただけることになったのです。取りに行っていただいた総代さんにおかれましてもお忙しい中をありがとうございました。

道具は大切に使わせていただき、弓の道と禅の道とにしっかり精進してまいります。巻藁は本堂の軒下に設置しました。四阿はとても趣があるので境内に設置し、現在雨ざらしの仏様をお祭りするお堂として使わせていただく予定です。

11月11日（金）～13日（日）　宝物風入れ展を開催

昨年はテレビ放送もあったので６００人という最高入場者数を記録したのですが、今年は半分にも満たない少し静かな開催となりました。しかしその分、来場いただいた皆様には囲炉裏や石庭でゆっくりのんびりお過ごしいただけのではないかと思っております。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。来年も11月の2週目に開催いたします。

11月11日　リーフレットを新調

「坐禅の聖地®」として商標登録したことを契機に、約5年間使用してきたこれまでのリーフレットを新調しました。住職の完全手作りですので出来栄えはよくありませんが、栖雲寺の知名度アップを目的としておりますので、お知り合いなどにご紹介いただければ幸甚です。本堂と庫裏の間の外壁に常時置いてありますので、ご自由にお持ちください。

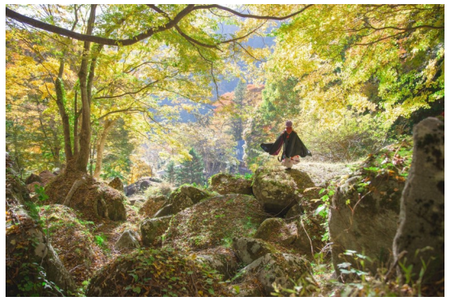
11月3日（木祝）　コスプレイベント『天空石庭の撮影会』を開催

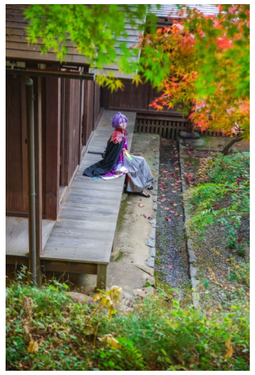
紅葉がピークを迎えた文化の日。今や世界に誇れる日本の文化でもあるコスプレの撮影会を県指定史跡の栖雲寺石庭で行いました。企画運営は大月市を拠点として活動する「おおつきCosplay」さん。栖雲寺は場所をお貸しした形ではありますが参加者と坐禅も行いまして、コスプレイヤーさんも岩坐禅です。非常に楽しい企画で、参加者以上に住職が一番興奮し大はしゃぎで撮影していました。

企画としても大成功を収め、募集開始10分で最少催行人数に到達し、数日で定員に達してキャンセル待ちになるなど大人気イベントとなりました。

ツイッター「#天空石庭の撮影会」で、参加者が投稿したたくさんの写真が見られますので是非ご覧ください。

参加者からの要望も多く、今年の5月20日(土)に第2回を開催することが決まりました。天目山の新緑が最も映える季節ですので最高の一枚が撮れること間違いなし。興味がおありの方はどうぞ早めに情報を確認しお申込みいただけたらと思います。私も参加者側に回ってコスプレしてみようかと真剣に考え中・・・・。





12月17日（土）　切り出した木材を建長寺の僧堂へ

庭の倒木や境内各所から切り出した樹木など、山積みにして約3年間溜め込んでいた木材を檀家さんの力もお借りして一気に処分しました。２ｔトラック３杯、軽トラック６杯分です。その中の使えそうな丸太や檀家さんから頂戴した木材はトラックに積み込んで建長寺まで運搬し僧堂に供養しました。僧堂はで毎朝の湯沸かし、米炊き、風呂沸かしなどが全て薪ですし、年末となれば餅つきにもたくさんの薪を必要としますので大変喜ばれました。

作業した日は雪でした